

# 三心を磨く

学校だより No. 9

令和5年10月20日(金)発行  
須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

## ◇◇◇◇◇令和5年度の後半開始! 「あいさつ」・「感謝」を大切に◇◇◇◇◇

おはようございます。

10月18日になりました。令和5年度の後半に入りました。東祭が終わって、親善音楽会も終わり、先週はバスケットボールの新人大会が始まりました。今日は、皆さんの近くで活躍している高校生の話をします。

ちょうど一年前になります。長野東高校の駅伝部が、初めて全国大会で優勝したというニュースが飛び込んできました。この写真は、アンカーの選手ですけれども、今も大学で頑張って競技を続けています。

長野県としても初めての優勝、5人で襷をつなぐ駅伝という競技です。この6年間の成績ですが、2位、2位、9位、20位、7位、優勝。2年連続2位の時のメンバーが、大学や実業団で今も活躍しています。2年前の東京オリンピックにも一人参加していました。そんな中、監督が代わってしまったんです。2020年、20位になった時には「長野東は終わったな」なんてことも言われていました。ところがそこから7位、優勝と成績を残しました。何がすごかったのか、ということについて話します。

犀川の河川敷には、画像のようなコースがあって、ここで練習しています。実は、校長先生も時々ここで走りますが、走っていると必ず高校生が「こんにちは」とあいさつをしてくれます。こちらはゆっくり走っていて、高校生は日本一ですから、ハァハァ息を切らして走りながらあいさつしてくれるので、気持ちの良い子たちだなあと見ていました。

このコースは何キロもあるのですが、きれいにホウキで掃除がされています。練習の前に必ず掃いて、練習が終わって真っ暗になってもきれいに掃いて、練習場所を大事にしています。台風の時には大きな被害を受けていて、県大会で優勝してとても疲れて帰ってきた日の夜に台風が通過し、マラソンコースの木が倒れたり、枝などが散乱したりしている状態になりました。驚いたのは、次の日の朝、疲れているはずなのに朝早くから選手みんなが起きて、軍手をはめて枝の処理したり、掃除をしたりしていました。すごいなあと、自分たちの練習している場所に「感謝」しているのがすごく伝わってきて、応援したくなる子たちだなと思っていました。



この時のメンバーが、大学駅伝、実業団駅伝やオリンピックで活躍

2017年	2位
2018年	2位
2019年	9位
2020年	20位
2021年	7位
2022年	1位

ここで監督が交代に

長野東は終わった

何がすごかったの?



